



2学期が始まりました！ 「教科をベースとした授業実践の推進：村特イチガン」に向けて

□ 各校で2学期がスタートしました。

夏休みも終わり、各校（本校、山形校、天童校）で2学期の始業式が行われました。

始業式では、久しぶりに登校し、友だちや先生方との再会を喜んでいるように思えました。また、身長が伸びたり、顔つきが大人っぽくなったり（全くの主観ですが…）した子もたくさんいたような気がします。

2学期は、三校とも、80日間の学習を行います。小学部は三校合同（本校、山形校、天童校）の宿泊学習や修学旅行（修学旅行は二校）、分校では、併設の小学校の運動会への参加、中学部では、福祉事業所体験や修学旅行、校内バザー、高等部は進路決定のための産業現場等における実習など、それぞれの学校、学部の特色を生かした学習を行う予定です。

その中においても、全校生で創り上げる「むらとくまつり」がメインの学習となるのでしょうか。「むらとくまつり」では、どの学部、学年も、ここまでの学習のまとめとしての発表になるのではと思います。どんな発表をしてくれるのか、今から楽しみにしたいと思います。

□ 1学期の学校の様子を振り返ってみて…

1学期は、進学や進級し、新しい友だちや先生と会ってちょっぴり緊張していた4月の学習から、約70日余りの学習でした。普段の学習の他に、小学部、中学部、山形校、天童校それぞれで実施した運動会では、走ったり、投げたりして、自分の力を十分に発揮できたと思います。また、高等部3年生は、横浜方面への修学旅行がありました。事前事後の学習では、旅行先を調べたり、そして調べたことを検証したりして、現地での活動のみならず、学習を深めることができました。その他にも、小学部では学年ごとに本校、山形校、天童校の三校交流、中学部は、山形聾学校との交流、高等部では産業現場等における実習など友だちとの仲を深めたり、自分の力を試したりする学習も行われました。

一人一人が今ある力を十分に発揮でき、それぞれの成長を実感できた学期だったと思います。



□ 一人一実践、がんばっています！

本校では、子どもたちが学習を「やってみたい」「できた」「もっとやりたい」と思ことができる授業づくりをしています。その中で、今年度の取組みとして、「一人一実践」を行っています。これは、学部の枠を越え、お互いの授業を見合うことで、授業力向上をねらったものです。

1学期から取り組んできましたが、現段階で、約4割の教員が授業を提供し、その後の話し合いを行いました。今後も、専門性の向上のため、推し進めていきたいと思っています。

最後に、今年度の公開研究会は、本校：12月3日（木）天童校：11月25日（水）に実施予定です。詳細につきましては、後日改めてお知らせいたします。

2学期も、村山特別支援学校に対しての御理解、御協力をお願いいたします。